

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

10

1975 OCT. NO.148

排気ガス対策と操縦安定性を向上した *NEW* ヤマハスポーツTX650



ニュー **TX650** 新発売

家族で遊べるスポーツランド菅生

MINI BIKE RACE

菅生は新しいスポーツレジャーを育てます。

いま若者たちの間に絶大な人気のミニバイク、そして新しいスポーツレジャーとして急速な盛り上がりを見せるミニバイクレース。

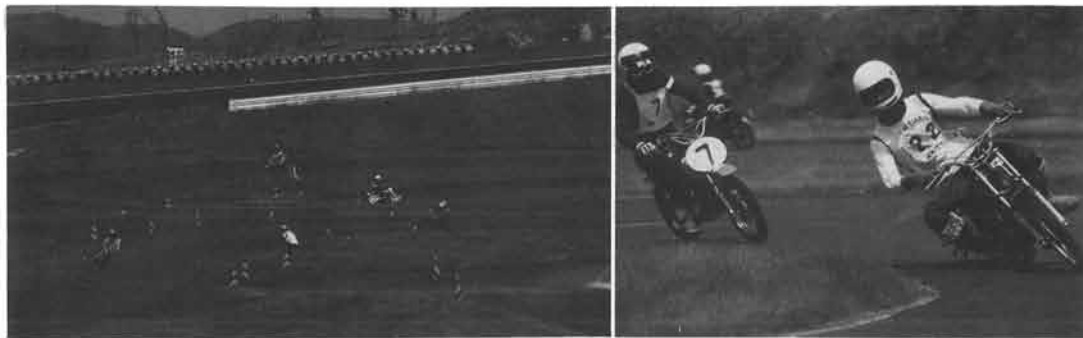
こうした動きをいち早くとらえ、新しいスポーツレジャーを健全に育成していく、これもスポーツランド菅生の大きな役割です。

お店のSL活動に、ぜひ菅生を

ミニバイクは、若者とバイクの自然なふれあいの場として親しまれている菅生でもとくに人気が高く、すぐれた安全性を誇るカートコース、ミニトライアルコース、モトクロスコースなど充実した施設をフルに活用してさまざまに楽しんでいます。

またミニバイク三種競技やSLミニバイクフェアなど多くの新しい試みもスタートしています。

お客さまともども楽しい菅生のミニバイクイベントに、またお店のSL活動の場として菅生の施設をご利用いただくなど、どうぞ積極的にスポーツランド菅生をご活用ください。



紅葉とスポーツ、ロマンチックな10月の菅生

10月12日 10月19日 11月2日～3日	SLミニバイクフェア SCCカートレース第7戦 '75オールジャパンSLチャンピオンカートレース	11月16日 11月23日 11月24日	第2回SCCモトクロス耐久レース SLトライアル東北大会 SCCカートレース第8戦 '75サヨナラミニバイクフェスティバル
------------------------------	--	----------------------------	--

★オリエンテーリング、サイクリング、ゴーカート大会、おかしな自転車大会などと合わせて楽しめる「いも煮会」も開催中。

大きな自然のびのび菅生

スポーツごころの大きなふれあい

●「菅生」連絡先

宮城県柴田郡村田町大字菅生字路石6-1
〒989-14 ☎022483-3111

●「菅生」仙台営業所

宮城県仙台市日の出町3丁目8番36号
ヤマハ発動機株式会社・仙台支店内
〒983 ☎0222(95)1031・(94)6121

●「菅生」東京営業所

東京都中央区銀座8丁目9-13銀座オリエン
ビル ヤマハ発動機株式会社・東京支店内
〒104 ☎03(572)2021

●ヤマハオートバイ、フジオー自転車取り扱い
店・菅生プレイガイド店でも受付けます。



菅生
スポーツランド
SUGO

経験にプラス理論で 行届いたサービス管理

ヤマハ技術講習会の成果を追って(九州)

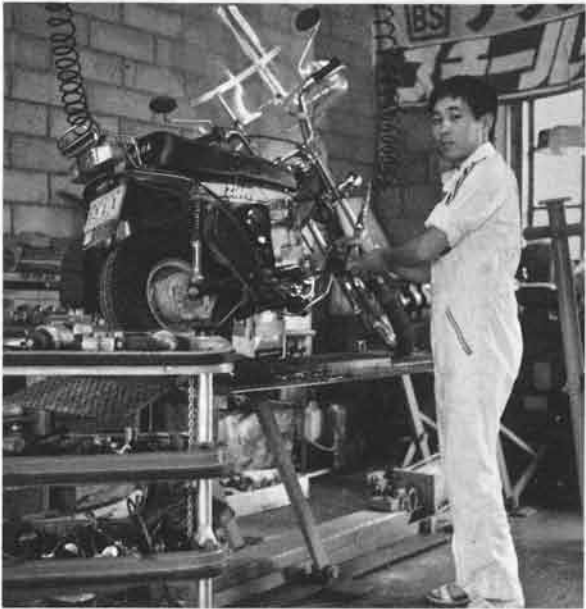
ヤマハ本社、支店、営業所、そして販売会を会場として、昨年来より全国的に行われてきている「ヤマハ技術講習会」は、整備技術の基本から応用技術まで、すぐに役立つサービス技術を身につけると同時に、お客さまとの信頼を高める「テクニカル・トーク」を学んで、安全の普及から販売業績のアップへと大きな成果をあげています。

それは、いわば経験にプラス理論を加えた新しいセールス作戦の展開であり、明日の商戦に対しての有力な跳躍台としての役目も果して好評です。

編集部ではこうしたフレンド店さんを九州に訪ねてみました。九州では、「ヤマハ技術講習会」の参加を契機として三級自動車ガソリン・エンジン整備士に挑戦しようという意欲的なフレンド店さんの動きがあり、奥さまサークルでもフロントサービス、経営面での活発な勉強会が開かれているなど、積極的な行動が伝えられ注目をあびています。



買物はほんらい楽しいもの。商売の真理を説く内山久夫代表と内山諭さん(左)



- ▲バイクリフトにエアドライバーの採用は作業を正確、迅速なものとしてお客さまにも好評である
- ▶技術講習会の修了証、そして安全運転指導員の認定書は店の大きなセールスポイント



寝ても、覚めても、起きてても… 販売に生かすメカニカルトーク

最初にお訪ねしたのは福岡県行橋市豊津駅前の内山商会さんです。経営者の内山久夫さんは、戦後、中国大陸からひきあげてきてから現在のお店を築きましたが、いまは実作業はすべてご子息の諭さんにまかせ、悠々自適の生活をおくっています。

しかし、大陸時代は独学で機械工学をマスターし、「寝ても、覚めても、起きてても、商売のことを考える」ということをモットーとしてきた努力の人であるだけに、商売の本質については非常に厳しい考え方をもち、「ヤマハ技術講習会」の開催を知るや、いちはやくご子息を受講させたという次第です。

「商売は堅実にかたく考えていては手も足も出なくなる。かといってイーजीに考えて手を広げても失敗のもと。お客さまは店になんを求めているか、常に商売の真理を考えていればお客さまはつく」。こうした厳父の商哲学を身につけて、諭さんも「商品をゆたかににおいて、買物する喜びをお客さまに味わってもらおう。お買求めいただいた商品については徹底したサービスで安全と楽しさを味わってもらおう。こうした考え方を、お店の発展の基礎としたい」といいます。

「後輪がパンク、そのパンクを直すだけがサービスではない。ブレーキ、チェーン、スプロケットの摩耗や安全チェックにまで目を通してこそ内山商会のサービスとなる。「ヤマハ技術講習会」で学んだ技術は、こうしてセールスに生かされています。部品用品庫には沢山の品物がつまみ、作業場はバイクリフトと共にエアドライバーのバイブラインが内山商会の高度な技術を物語っていました。」



▲こうして見ますと、バイクリフトは技術力を示すPOPとしても役立っている



▶お客さまとの商談室。ここにもお店の安全、技術に対するアピールがある

▲「よい機械はどんどん使っていこう。このバイクリフト一台がどれだけ作業能力をアップしていることか……」笠井等社長と俊宏さん(右)

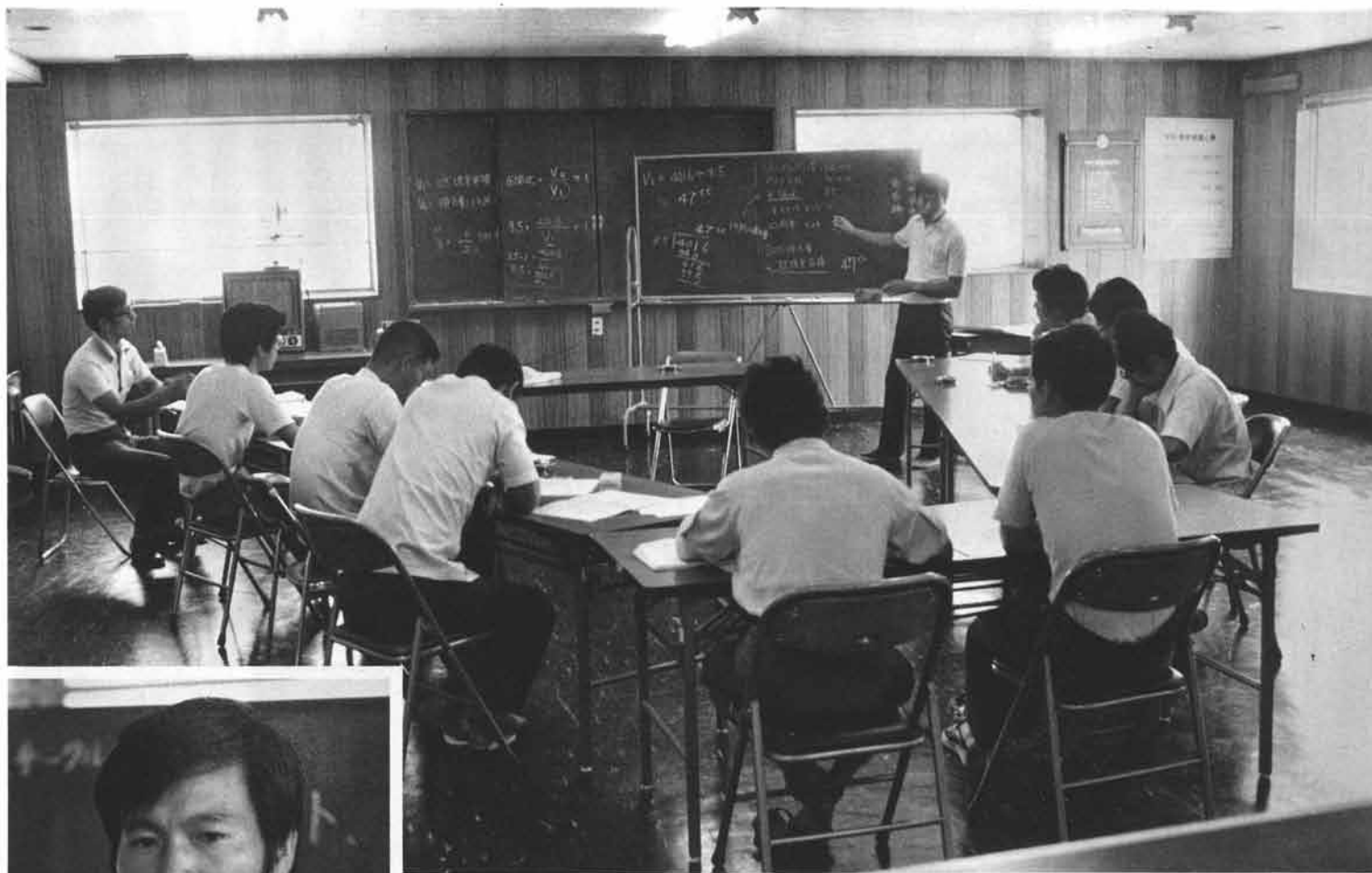
機械ですむことは機械に 迅速・正確なサービスで勝負

「新車を買うのはどこも同じ。違いは前後のサービスにある」と語るのは熊本県荒尾市上小路の笠井モーターズさんです。

バイクを商売の柱として小型四輪、ボート、船外機の販売も手がけて、お店の業績をぐんぐんと伸ばしている経営者の笠井等さんは、「バイク部門は息子にまかせていますが、とにかくわれわれの商圏ではサービスが決め手。店は私と息子、そして二級整備士の従業員ほか6人で仕事をすすめています。時間外のサービスは私と息子と交替でやっているんですよ。」というのも、近くに炭鉱があり、三交代勤務。昼も夜もないんです。夜中の三時にパンク張りに起されたりします」

こうしたサービスで売っているお店としての問題は作業のスピードアップ。いかに確実にスピーディに仕事をこなしていくか、その解決策の積極的な手段として笠井社長は、「機械ですむことは機械にまかせろ、新しい機械が出来れば次々と取入れていこう。専用工具を使えば仕事は正確、迅速になり、適正なサービス料もはじきだせる、ということですよ」と述べています。

ご子息の俊宏さんが「ヤマハ技術講習会」に参加したのも根底には右のような考え方があったからで、受講後の成果について俊宏さんは「いろいろな器具を知り、またその正しい取扱い方を学んだことが一番の勉強となりました。自分では気がつかない我流というものがあるんですね。それを直したことで、サービスの内容をお客さまに胸をはって説明できる自信をもったこと。これが大きな成果でした」と、元気いっぱいです。



▲講習はまず前週の復習でムードをもりあげ、新しい課題へとすすむ。鹿子嶋講師のリードも巧みで、サポート役の猪熊営業技術員との息もぴったりで熱のこもった勉強がつづいた

◀……トラブルが起きたから不調箇所を見つけて直す、ということよりも、これからは故障しないようにこうする、こうしていく、という技術力とメカニカルトークが必要です……二輪車販売店のプロとして、奥さまはどうあるべきか、お店によって条件はさまざまあるでしょうが、プロの奥さまとしてこれだけは知ってもらいたい、役立ててもらいたい、ということを楽しんでお店の発展に寄与したい……。整備士受験の講習会で、奥さまサークルであいさつする九州支店只松営業技術課長

目標は“三級ガソリン整備士” 猛暑をよそに理論武装を特訓

「ヤマハ技術講習会」をひとつの足がかりとして、せっかく身につけた技術力をさらに高め、価値あるものにしようと十月五日の三級自動車ガソリン・エンジン整備士の認定試験（日整連）を目標に、休日を返上して頑張っているのは鹿児島、宮崎のフレンド店さんです。始動不能のエンジンも、たちどころに生き返らせるウデをもっている、排気量や燃焼室容積の算出となると、いつもの仕事とは勝手が違ってきます。

「圧縮比を求める公式はV1分のV2プラス1、さてこのときのV1、V2は……」とどこよらの学習塾のような光景がみられるのはヤマハ九州の会議室。朝十時から夕方四時まで、講義に、出題に、解説に、十年も二十年も若返っての勉強がつづけられます。

こうした会場は三会場ありますが、ヤマハ九州本社会場で講師を担当している鹿子嶋営業技術主任は「みなさん一生の仕事として二輪販売にたずさわっている人ばかりですから、おれがやらなきゃ誰れがやるとばかり真剣な受講態度で本当にやりがいがあります。質問もバリバリありますし、今度の認定試験にはぜひとも全員合格をめざしたいですね。そうすれば技能検定は実習だけですみまから合格したも同然ですよ。とにかく、資格をもってば仕事にハリも出てきますし、こうした講習で身につけた理論が、商売上でも役立つことが多々あります。これからはそうした時代ですからね」と、わがことのように力を入れてるのが印象的でした。豊富な技術経験にプラス理論、これからの販売にもきつと大きく役立つことがあるはず。



点火プラグの発火部の色は何を物語るものなのか…か
たい話をやさしく解説していく講師の藤原営業技術員

お店にとつて売りやすくお客さまにとつても買いやすいシステムがクレジツト…身のまわりのことを例題に経理の本質を分かりやすく解説して好評の与儀総務課長



メモをとるヤマハ奥さま、左から古木菊代さん(古木モーターズ)、青山美保子さん(青山自転車店)、満尾勝子さん(満尾モーターズ)、東久子さん(東商会)



◀点火プラグを手にとつて講義に耳をかたむける高木イク子さん(高木自転車店)、池上ムツ子さん(池上自転車店)

いっぽう経理面はヤマハ南九州本社との与儀総務課長の担当。巧みにユーモアを織りませるその解説は、ことがお店の基盤にもつながることもあつて奥さま方は思わず身をのりだして耳を傾けるほどの気の入れ方です。「奥さま方が経理面に明るくなると、ご主人のほうもうかうかしていらなくなりませんが、夫婦は両輪、お互いにお店をもちあげていくようにこのサークルの成果をご商売に生かしてもらいたいものです」と、全面的なバックアップに努力を惜しまない姿勢をみせていました。

こちらは宮崎県小林市で開かれた「ヤマハ奥さまサークル」です。
訪問販売、出張サービス、その他のことでご主人がお店を留守にしたときは、奥さまがかつてフロント業務をつとめよう。何を、どこへ、どのようにするか、お客さまのメッセージジャー役がつとめられればお店の信頼度は大きく高まる。そのためにもお店のご商売に關する最大公約数的な専門知識は身につけていただこう。同時に、経理面のご相談にも応じましょう——という考え方をもとに、午後のひとときを、同じご商売の奥さま方が一堂に集まつて楽しいおしゃべりの時間のあるのがこのサークルの特色です。

サービス技術の担当は、ヤマハ南九州・宮崎営業所の藤原清美営業技術員。きょうの課題は点火プラグについてでしたが、「カタログを読むようになってもらうのが目標です。世間話の中に、自然にオイルやプラグ、ブレーキの話が出てくるような、そんな奥さまはご主人も喜ばれることでしょう」と意図したねらいを語ります。

こちらは宮崎県小林市で開かれた「ヤマハ奥さまサークル」です。

フロント業務に経理担当に やる気をみせるヤマハ奥さま



神奈川県若い女性と大阪の中学生の男の子達はモトバイクとプジョーのとりもつ縁で仲良くサイクリングです

しやれたデザインと ユニークさで商売繁昌

阪急嵐山駅前に、まわりの美しい景色にマッチしたしやれた喫茶店「らんさん」があります。「らんさんレンタルサイクル」(TEL. 075(861)0251)はこの喫茶店の経営者、林田祐三郎さんが隣の駐車場の一部を利用して、今年の8月1日にオープンしたものでモトバイク20台、プジョー30台が用意されています。林田さんは喫茶店、駐車場、レンタルサイクルの他にも菓子屋さんも持っているという多角経営者です。この多角経営者の林田さんが、モトバイクとプジョーのレンタルを始めた動機を次のように話しています。

「私がレンタルを始める前にこの地区には約450台のレンタルサイクルがあったんですがまだまだ伸びそうだと考えたんです。しかしそれにはこの土地柄にピッタリした自転



バイクとプジョー



駅から出るとこの大きな看板のお店がすぐ目に入ります。右側がご主人の林田祐三郎さん左は長男の與司さん

京都は美しい自然を背景にした伝統と文化の町。国内はもとより遠く海外からも「日本の美」を求めてこの地を訪れる人は跡をたちません。その京都のみやびやかな美しさを代表する嵐山、嵯峨野地区で、モトバイクとプジョーが多く、観光客の散策の足として大いに活用され、よろこばれています。

車を置くことが必要だと思いました。その意味ではこのしゃれたデザインのプジョーと、モトバイクのユニークさは若い人達に強くアピールします」

「らんざん」のお客さまは あなたのお店のお客さま

「数年前までは夏の京都を訪れる人はあまりいなかったんですが、最近では四季を問わずにいらっしゃるようになりました。それでレンタルサイクルも秋のシーズンに入ってから始めようかとも考えましたが、思いきって夏休み中に始めたいです」とおっしゃる林田さん。このヨミは見事に的中、宣伝などいっさいしなかったのに、駅前という立地条件の良さもあって、一日平均30人近く、多い日は50人を越す人がモトバイクとプジョーに乗りに来られるという盛況ぶりです。

「私もモトバイクとプジョーが大好きですからもともと多くの人に乗ってもらいたいんです。うちには全国各地からお見えになるので、その人達がモトバイクとプジョーの良さを認めて帰っていかれるのはいいPRにもなって私もうれしいんですよ」こうおっしゃる林田さんは今後の経営方針を次のように話してくれました。

「これからは本格的な行楽の季節に入りますので積極的なPRをしていきます。特に若い人が多く泊まれる民宿などに強く働きかけてそことタイアップし、お客さんが名所などを御覧になったあとうちまで返しに来ずじかに自分の泊っている所まで自転車で帰られ、それを後でうちがひきとりに行くというシステムも考えています。そして来年の春のシーズンの前にはさらにモトバイクとプジョーの数をふやしていこうと思っています」

京都でモトバイクとプジョーのすばらしさを味わったお客さまは、こうして全国各地にわたり、いずれあなたのお店のお客さまともなるわけです。

観光客の足をつとめて好評

『らんざんレンタルサイクル』のモト





きみん
とこころでも
やったらら？



次が一番むずかしかったスラローム



これは一本橋走行、ちょっとでも車輪がゴム板からはずれたらやり直しなんだ



最後はこのドラムカンを乗り越えるんだ。『もの言う前後のクッション』で感じだね

わんぱく大集合

モトバイク
運動会

パパもママも、ボクもみんな楽しんでしゃつた

8月26日(火曜日) 晴れ

きょうボクはすぐ早くおきました。ボクはうれしいことがある日はいつもみんなより早くおきます。遠足の時や、パパが映画につれていってくれる時もそうです。きょう早くおきたわけは、大阪の河内長野市にある「関西サイクルスポーツセンター」という所で、ヤマハ・モトバイク運動会というのがあってうちじゅうみんなで行くことになっていたからです。

ボクはもっとチビのころから自転車が好きでいろんなのに乗ったけど、今ではモトバイクがボクの愛車。ママはプジョーに乗っています。それで今日のことモトバイクやプジョーを買ったヤマハの販売店のおじさんに聞いたのです。「サイクルセンター」へは貸切りバスで行きました。

午前中はヤマハのお兄さんたちから自転車の正しい乗り方を教えてもらったあと、一周3kmもあるサイクリングコースでもいきり自転車に乗りました。そしてうんとおながすいたあとママが作ってくれたお弁当を食べました。とてもおいしかったです。

モトバイク運動会は午後1時から始まりました。ずい分おおぜいの人が来ていて、ヤマハのお兄さんは250人はいると教えてくれました。ボクは男の子ばかりだろうと思っていたら、女の子もたくさんいたのでうれしくなりました。それによ

おそ乗りレース。足ついたり、白線をこえたらいけないんだよ。▶



ほら、パパたちもおおぜい出たんだよ。



『お兄ちゃんガンバッテね!』



ヤマハのお兄さんから自転車の正しい乗り方をおそわっている所です。



障害物レースはヨーイドンで、ル・マン式のスタートなんだ



最初はこのタイヤをひいて。重いんだよ

そのパパやママにお兄さんやお姉さんも、みんなすごく楽しそうでした。

種目は、おそ乗りレース、後押しレース、障害物レースの3つあって、だいたい同じ年ぐらいの人が組んできょう走りました。ボクはもちろん全部に出ました。そして障害物レース、おそ乗りレースに優勝しました。パパは、「さすがにおまえはモトバイクのオーナーだけのことはあるな」と喜んでくれました。パパはおそ乗りで2位、ママは後押しで3位でしたが、2人とも以外と器用なのでボクはびっくりしました。

このほかにボクは「交通安全クイズ」でも全部に正しく答えたいきりあそんだうえに、たくさん賞品をもらってとってもうれしいです。ママも「ただあそぶだけでなく、安全のためになることを覚えられていい勉強になったわね。こんどもこういうのがあったら、また来ましょうね」といつてくれました。

おわり

鈴木忠男選手をはじめとするセニアライダーも特別参加。マーシャルに、模範レースに大奮闘



▲日本全国から250台が菅生に集い、ミニ、市販車、ノービス、ベテランの4部門11クラスで競いあったSL全国モトクロス大会

菅生に集うSL仲間

健全なスポーツ・レジャーを通じてバイク本来の楽しさの普及と理想的なマナーの確立をめざすヤマハのSL活動は、この夏も全国各地で多彩な活動を展開、行動する若人の季節を大いにもり上げたものです。

人、自然、マシンのふれあいの場としてこの五月にオープンしたスポーツランド菅生では、折りから開催中の「菅生サマーカーニバル」とタイミングを合わせ、ヤマハSLクラブ、SLカートクラブが、SL全国モトクロス大会、SLカートフェスティバルを同時に開催しました。

このふたつの大会は、いずれもフリーエントリー。しかも、全国各地で展開されているSLモトクロス大会、SL杯カートレースシリーズの年に一度の祭典、全国大会とあつて文字通り北は北海道から南は九州までモトクロスに180名、250台、カートレースに152名が参加、うだるような暑さの中にもかかわらず新しいモータースポーツのメッカ「菅生」でモータースポーツの楽しさを心ゆくまで満喫したものです。

特に中国、四国、九州など遠来の参加者の多くは「ヤマハが建設したモータースポーツの新世界をぜひ走ってみたい」ということであつてより一層の盛り上がりを見せ、SLカートフェスティバルは、日本ではかつてない参加台数の大会となりました。

また、鈴木忠男、杉尾良文、瀬尾勝彦、石井正美とヤマハで全日本選手権シリーズに活躍するセニアライダーも特別参加してのSL全国モトクロス大会は、ミニトルールクラスや市販車クラスに人気が集まり、手軽に楽しめるSLモトクロスとして好評を得たものです。



“スポーツランド菅生” 若者の祭典

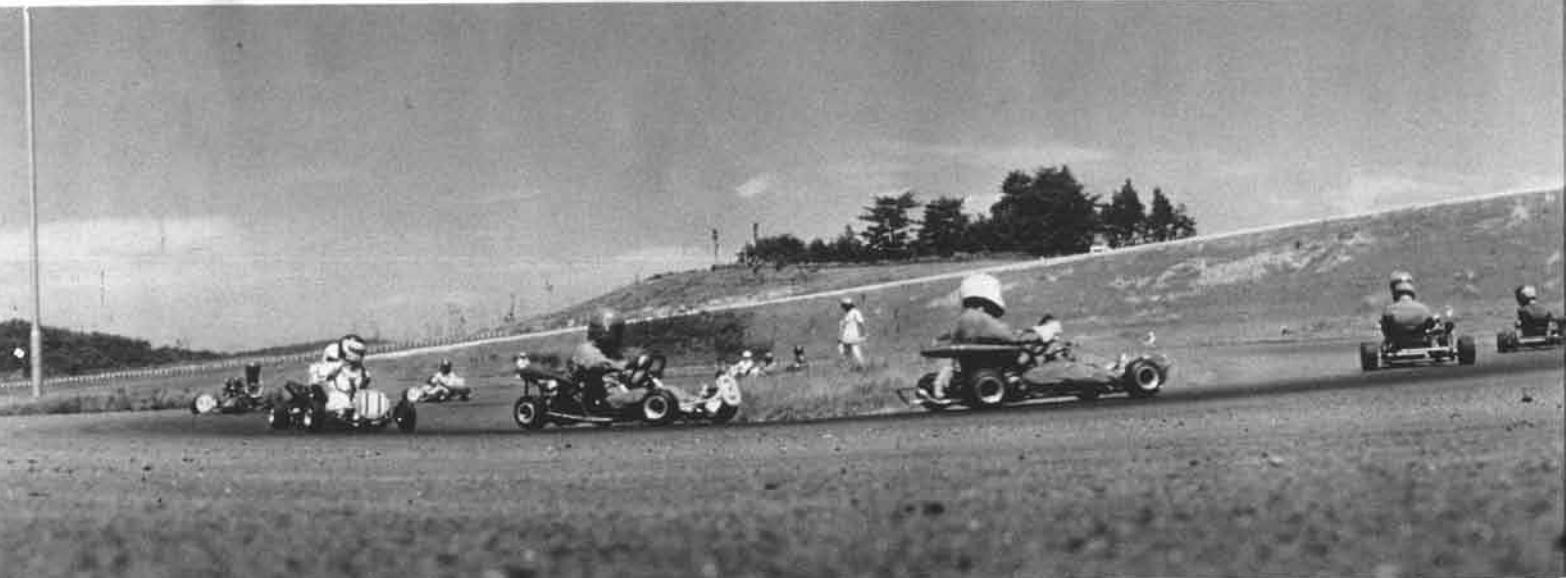
★SL全国モトクロス大会

★SLカートフェスティバル



▲「カートの楽しさを肌で感じとっていただきたい」と昼休みに行なわれた試乗会には、女性も参加。この方は仙台市「乗物センター本部」さんの奥さま

▶クラスSノーマルからクラスS、クラスSS、クラスAの4クラス、12ヒートに果敢な走りを見せるSLカーターたち



スポーツランド菅生 若者の祭典



お店のご主人の参加も目立ったミニトレールクラス。
お客さまともどもの参加でモトクロスの楽しさを堪能



小宮大会々長（ヤマハ発動機・営業部長）よ
りもりだくさんの賞品を贈られる入賞者たち



▲ヤマハレッドアローRC-100M・IIの姿がひ
どきわ目立つパドック

▶「おめでとう！」優勝者へのでっかいプレゼ
ントはヤマハモトバイク



「おもしろそうだね」と瀬尾勝彦セニアもミ
ニトレールクラスに特別参加



専用コースでは世界最高の菅生カートコースは、早くもカーターのメッカとなりつつある

大きく広がる
ミニバイクの

世界



この夏「菅生」では、みんなが楽しめる新趣向の「ミニバイク三種競技大会」が、S・L・モトクロス全国大会など多彩な催しが行なわれましたが、関西地方でも「関西ヤマハフレンド店会」と「ヤマハS・Lクラブ関西地区」との主催で、8月9、10日の両日に兵庫県三田市で「ヤマハS・Lレジャーバイク運動会」を開催、バイクの健全で正しい楽しみ方の指導と、安全運転思想の普及を行なうとともに、販売促進の面でも大きな成果を得ました。

走り、唱い、拍手に沸いた

ヤマハS・Lレジャーバイク

フェスティバル

関西



キャンプファイヤーでの呼び物はのど自慢大会。お客さまも、販売店さんも、セニアライダーもみんな楽しそう

姫路のトライアルクラブ『てんたふ虫』の愉快的仲間たち。キャンペーンのテントもたくさんはられています

新需要層の開拓にも大きな力

この催しに先がけて「関西ヤマハフレンド会」は、6月10日から7月31日まで、ヤマハがこの夏テックカイプレゼントをテーマに販促キャンペーンを行いました。これは期間中にGT 50、GT 80、TY 50、TY 80を買われたお客さまに、2人用キャンピングテント、緑の風のTシャツ、ヤマハS.L.レジャーバイクフェスティバル招待券を提供するという豪華プレゼントキャンペーンでした。このキャンペーンとフェスティバルを結びつけた好企画の催しについて、大阪府高槻市の販売店「カーコーナー丸斗」さんの販売部長・安土彰成氏は、「キャンペーン期間中の直接的影響はもちろんですが、フェスティバルに参加したいという新しいお客さまが、多くうちに来てくれたということが大きなメリットでした」と語っていました。

スポーツにオートキャンプに楽しさを満喫したバイク仲間

この「フェスティバル」の会場は、三田市母子乙原高原にある15万坪という広さの牧場で、この一面に7つの競技会場を設けて各種のレジャーバイク競技は行なわれました。参加者は小学生から家庭の主婦まで350名を越す盛況ぶり。また一般参加者に混じって、モトクロスやセニアライダー、鈴木忠男、杉尾良文両選手も特別参加し、一般参加のバイク仲間を大いにハッスルさせていました。

1日目はこの両選手などによるトレール教室やトライアル教室でライティングの勉強をしたあと、ジムカーナ、トライアル競技などが行なわれたのです。2日目にはヒルクライム、モトマロンなどの珍しい競技をふくめたミニバイクモトクロス、アベックレースといった楽しい競技会が次々にくり広げられました。

また昼休みにはトランジスタラジオが当たる抽選会や、忠男、杉尾両選手によるサイン会も開かれ、よいバイク仲間であらうといふ会場は和気あいあいの雰囲気にも包まれていました。

昼間スポーツレジャーで汗を流した夜は楽しいオートキャンプ。プレゼントキャンペーンでもらったテントを中心に約160張りのテント村ができ、たそがれの空のもとに飯盒水さんの煙が立ちのぼり、あちらこちらからカレーやバーベキューのいい香りがただよっていました。

自然の中でおいしい夕食を食べながら姫路から来たバイク仲間たちは、「やっぱり来てよかった。同じバイクファンということですから友達になれるし、思いっきり楽しめる。今年の夏のいい思い出ができました。来年もやれば今年以上に人気が出ますよ。」と語っていました。

食事の後はいよいよキャンプファイヤーです。大きく燃えあがる炎に照らされて唱ったり、映画を見たりするみんなの顔は、どの人も満足そう。久しぶりにのびのびと若さを満喫しているといった感じで、バイクを通じた人々のふれあいの輪は大きく広がっています。



大阪府高槻市の「カーコーナー丸斗」さんでのキャンペーンセールも大盛況でした



走り、唄い、拍手に沸いた
ヤマハSLレジャーバイクフェスティバル



この子供たちのかわいい笑顔も、だれでも楽しめるレジャーバイクフェスティバルな



スターブラック



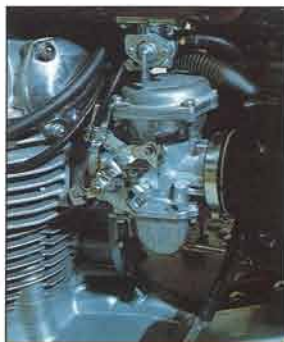
セイジブラウン



フロントフォークは軽量化が図られ、ディスクブレーキのキャップはフォーク後部に移った。



安全性を考慮して後方ヒンジとなった燃料タンクキャップ。タンク容量は15ℓ。



左右のキャブレターはスロットル開度をロッドで連結。またアイドリミッターが採用されている。



TX500と同様にテールアップのマフラーは左右連結式となっている。

新発売 ヤマハスポーツTX650



「ヤマハスポーツTX650」
 が新しく生れ変わりました。改良
 良点の大きなポイントは●騒音
 および排気ガス対策と●操縦安
 定性の向上を図っていることで
 ライディングポジションも一新
 し、セパレートメーターやテ
 ルアップマフラーの採用、そし
 て新しい燃料タンクとニューカ
 ラー等々によって、商品完成度
 をさらに高めたものとしています。

大排気量車として気だらずに乘れるタウン
 バイクの乗りやすさと、パーチカルツイン
 独自の乗り味とでもって根強いファンをつ
 りあげている「TX650」は、このたびの
 改良によってさらにまたその走行性能を高
 め売りやすさを増しています。

まずエンジン関係では、排気ガス対策とし
 てブローバイガス還元方式を採用しました。
 マフラーはテールアップの新型とし、左右連
 結式として排気音の減少を図り、また吸気サ
 イレンサーも新型とし、従来にも増して吸気
 音を低下させています。

燃料の経済性に富み、すぐれたレスポンス
 を発揮する三国ソレックスSU型のツイン・
 キャブレターはこのモデルから左右連結式と
 し、左右のスロットルバルブの開閉を一体化
 させ、アクセルワイヤーは一本としてありま
 す。さらにアイドルリミッターも採用しまし



新設計のハンドルバーとセパレートのメーターまわり

た。そのほか、カムチェーンのテンションナーは
 水平より10度上向きとし、キャップナットが
 ロックナットをかねたものとして作業性を向
 上させているほか、三分割方式のクラッチペ
 ッシユロッドなどによるクラッチ作動の性能
 アップ、セルモーターのギヤ飛込み改良、点
 火プラグの熱価ワイド化、シリンドラーヘッド

車体カラーは右ページでご覧のようにスタ
 ーブラックと、セイジブラウンの二種類を用
 意しました。

ヤマハスポーツTX650主要諸元

全長	2180mm
全高	835mm
全巾	1140mm
シート高	800mm
軸間距離	1435mm
最低地上高	140mm
乾燥重量	212kg
舗装平坦路燃費	30km/ℓ(60km/h)
登坂能力	26°
最小回転半径	2500mm
制動停止距離	14.0m(50km/h)
エンジン	4サイクルOHV
気筒数・排気量	直立並列2気筒653cc
内径×行程	75×74mm
圧縮比	8.4:1
最高出力	53ps/7500rpm
最大トルク	5.5kg-m/6000rpm
始動方式	セル/キック併設
点火方式	バッテリー
燃料タンク容量	15ℓ
潤滑オイル容量	2.5ℓ
潤滑方式	ウェットサンプ
バッテリー容量	12V14AH
バッテリー型式	YB14L
発電機種類	交流発電機
発電機型式	LD-115(日立)
点火プラグ	BP-7ES(NGK)
キャブレター	三国ソレックスSU型BS38
エアクリーナー	乾式モルトブレン
一次減速(比)	ギヤ(72/27=2.666)
二次減速(比)	チェーン(34/17=2.000)
クラッチ	湿式多板
変速機	5段リターン
変速比1速	32/13=2.461
変速比2速	27/17=1.588
変速比3速	26/20=1.300
変速比4速	23/21=1.095
変速比5速	22/23=0.956
フレーム形式	高張力鋼管ダブルクレードル
キャスト	63°
トレール	115mm
タイヤ寸法(前)	3.50H19-4P R
タイヤ寸法(後)	4.00H18-4P R
ブレーキ(前)	油圧ディスク
ブレーキ(後)	機械式ドラム
懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
ヘッドランプ	12V 50/40W
テール/ストップランプ	8/23W
フラッシャーランプ	12V 27W
各種パイロットランプ	12V 3W

サイドカバー(タペット)の完全シールド(0
 リング組込み)などがあります。
 車体関係での大きな改良点としては、フロ
 ントフォークを一新、バネ下重量の軽量化を
 図ったほか、フロントブレーキのキャリパー
 をフォーク後ろに設置し、ハンドルまわりの
 回転重量を軽減してハンドリングの向上を果
 しています。さらに、リヤダンパーのばね常
 数の改善および高速型前後輪タイヤの採用、
 ハンドルバーの形状変更にもなうライディ
 ングポジションの改良によって、操縦安定性
 を大きく高めています。

セルスポイントの一つとしては、新採用
 のセパレートメーターが指摘できます。また
 後方ヒンジとなった燃料タンクのキャップは
 安全性の向上につながる独自のものです。

そのほか細かなところでは、ヘルメットホ
 ルダーと一体化したシートロック、強度アッ
 プしたイグニッションキー、バンク角を広げた
 サイドスタンド収容、そしてテールアップ、
 左右連結式となったテールアップマフラーほ
 かがあります。

世界選手権スポーツ

8月24日のロードレースチェコGP（ブルノサーキット）で、予想通りG・アゴスチーニ、J・セコットがそれぞれ500cc、350ccの世界選手権を獲得しました。

アゴスチーニのタイトル獲得はこれで通算15回目、ベネズエラのワンダーボーイ、セコットはGP初出場でも早くもチャンピオンになったのです。



500cc級チャンピオン
G・アゴスチーニ選手



350cc級チャンピオン
J・セコット選手

ロードレース

チェコGP500cc級レースは、タイトルを争うアゴスチーニ、リード最後の対決になりました。

ポイントで非常に有利な立場にあるアゴスチーニは、このラウンドで奇蹟の逆転を狙うリードの猛ハッスルをよそに、終始ペースを守るクールな走法をみせました。

17ラップのレース前半、B・シーン、T・ランシボリ両ワークススズキ・ライダーが優勝争いに割って入りましたが、いずれも途中でリタイア。

タイトル獲得は九分九厘絶望的になったりリードは、アゴスチーニのリタイアにいちの望みをかけてトップを走りましたが、アゴスチーニはクールそのもので、リードに勝負を挑まず2位に定着する堅実な作戦をとりました。

リードが優勝しても、七位以内に入賞すればアゴスチーニのタイトル獲得が決定するからです。

結局この順位で両ライダーはレースを完走アゴスチーニは3年ぶり、500cc級タイトルウィナーになりました。10戦して優勝4回、2位2回、アゴスチーニはその得点のすべてを選手権有効ポイントにしたのです。

セコットとアゴスチーニの間で争われていた350cc級タイトルもチェコGPで行方がままりました。

このラウンドで両ライダーともリタイアしましたが、最終戦のユーゴGP（9月21日）の結果を待たず、新鋭セコットの世界選手権初出場初制覇の大記録が生れることになりました。

セコットは、ベネズエラ初のワールドチャンピオンとして、今や国民的英雄になりましたが、今年の残りのレースについてヤマハモーターN・Vと契約しました。

なお、チェコGP350cc級は、ヤマハのO・ブッシュエリニが優勝、以下上位はすべてヤマハライダー、250cc級、125cc級はハーレーのM・ロージェエリ、ヤマハのL・グスタフソンがそれぞれ首位になりました。

モトクロス

250cc、500cc両級のシリーズはすでに全日程を消化しました。

特筆されるのは、250cc級最終のスイスGP（8月31日）、H・アンダーソン（ヤマハ）の活躍です。

前ラウンドのフィンランドGPでブッフの



H・アンダーソン選手

H・エバーツがチャンピオンになり、スイスGPの興味の焦点はランキング2位争いでしたが、アンダーソンは総合でこのラウンドの首位になり、スズキのW・パウアーを抜いて75年度ランキング2位に躍進しました。

なお、500cc級では、A・ヨソソ、J・V・ベルソーヘンがランキング4位、5位に落ちつきました。

トライアル

8月24日フィンランド、8月31日スエーデンと日程を消化、ブルタコクのベテランM・ランブキンが追い上げてM・ラスメル（モンテサ）と並びました。

ヤマハのM・アンドリュウスは且下ランキング4位です。

毛利・TZ350

地力のセニア750制覇

●全日本ロードレース選手権第7戦 75鈴鹿200マイルロードレース大会

恒例の「鈴鹿耐久ロードレース」が内容を一新して「鈴鹿200マイル」となって二年目、ことしも8月9日、10日の両日、盛夏の

鈴鹿サーキットを舞台に開催された。特にこの大会は、新しい試みとして「手軽にロードレースを楽しんでもらおう」と一般



第2ヒート後半一段とペースを上げてセニア1位をめざす毛利とTZ350

MOTOR SPORTS HIGHLIGHT

お客さまとの話題をつくるモータースポーツ情報

量産車両によるプロダクションレースも開催されホットなレース展開に一陣の涼風を吹き込んで人気を集めた。

さて、EJ、セニア、FL(フォーミュラリブレ)750ccのみの200マイルレースは、27周、2ヒートのレース。全日本選手権シリーズでは初のクラッチスタートを採用。レースは両ヒートともFLの清原明彦、和田正宏(ともにカワサキKR750)のリードで進行したが、第1ヒート総合4位に喰い込んだヤマハTZ350の毛利良一は、第2

ヒートの終盤先行する2台のFLマシンをじわじわと追い上げ、ミッショントラブルに悩む和田を抜いて2位に進出、そのままチェッカーを受けて第1、第2ヒート総合でもみごとビッグマシンを押えて総合2位に輝き、セニア750ccクラスに3勝目をあげた。

この結果、このクラスのランキングポイントでもチームメイトの片山敬済に22点(有効得点では12点)の差をつけ、毛利が大きくチャンピオンに近づいている。

秀明、実力発揮の2勝目(S250)

杉尾、文句なしの3連勝(S125)

●全日本モトクロス選手権第9戦鈴鹿大会



久しぶりに実力どうりの強さを
見せた秀明の豪快なジャンプ

第9戦を迎えた全日本モトクロス選手権シリーズは、全国的に大きな被害をもたらした台風6号の影響でその開催が危ぶまれたが、結局8月23日の競技を延期し、8月24日にノビスからセニアまで10クラスの競技を行なった。したがって各レースは短縮を余儀なくされ、セニアは30分1周、EJは20分11週で争われた。しかし当日は台風一過の快晴に恵まれ、路面状態も急速に回復してGPの時のようなことはなくフルコースが使われた。

炎天下、熱心な多くのファンの見守る中で行われたセニア250cc級、鈴木秀明は好スタートを切り、川崎利広と竹沢正治のカワサ

キ勢がこれを追う形となった。しかし秀明は速かった。周回を重ねる毎に2位の竹沢以下をぐんぐん引き離し、レース中盤には完全に独走体制を固めた。そして終盤には完全にな追い込みを見せたものの、余裕をもって今期2勝目をマーク。世界GPから帰国後は、チエンがはずれたりの不連続だったが、久しぶりにその実力のほどを見せた秀明だった。

セニア125cc級は、第7戦と同様水冷YZMに乗った杉尾良文と瀬尾勝彦が1位、2位をわけあった。レース内容もまったくこの両者の2人舞台に終始し、中盤での両者のトップ争いは会場を沸かせていた。

全日本モトクロス選手権シリーズも第10戦を終了、あと2戦を残した所で杉尾良文がセニア125cc級で4連勝して早くもこのクラスの初タイトルを決定し、EJでも東福寺保雄が250cc級で5勝目をあげ、すでに決定した125cc級に続きダブルタイトルを目前にした。

第10戦は西に飛んで福岡県は筑後川上流の山の頂きにあるヤマハの星野トレイルランドで9月6、7日の両日に開催された。この第10戦には、世界GP出場のため日本を離れていた鈴木都良夫と渡辺明(スズキ)が戦線に復帰したこともあり、白熱した好レースが展開された。

久しぶりに強者達が勢揃いしたセニア125cc級でも杉尾はやはり強かった。スタート直後飛び出したのは世界GPで活躍した渡辺、そして瀬尾、杉尾、秀明等がこれに続く。杉尾はレース中盤まで渡辺をさきに行かせ、5、6mの距離を保ってピツタリついて行くという余裕をもった走り。そして後半に入ると満を持していた杉尾は軽く渡辺を抜き、あとはそのまま優勝した。これで杉尾はアメリカ遠征で不出場の第7戦をはさんで4連勝の6勝目で初のタイトルを決定したのである。

セニア250cc級は第1戦以来久しぶりに秀明、都良夫兄弟のし烈なトップ争いがレースを盛り上げたが、2周を残す所で都良夫が転倒し秀明がこのクラス2連勝を飾った。

東福寺はすでにタイトルを決めている125cc級はリタイアしたが、250cc級では後半猛烈に追い上げて5勝目をマーク、このクラスでもタイトルをほぼ手中に収めた。なお125cc級は藤正徳(福岡IIヤマハ)が地元の声援にこたえて初優勝した。この他6日に行われたノビスとジュニアでもMXとYZの

EJでは東福寺が250cc級でリタイアしたが、125cc級ではダントツで6勝目をマークした。ジュニア、ノビスでもMX、YZのヤマハ車勢は大健闘、中でもジュニアの北村隆資(長野II90cc)で5勝目、250ccで2位)の活躍が目まぐるしい。

杉尾4連勝でタイトル決定(S125)

S250は秀明、都良夫でワン・ツ

●全日本モトクロス選手権第10戦福岡大会

快勝が続いたが特にジュニアの福田敬治は125cc級と250cc級でGP以来2度目の2重勝と大活躍であった。

杉尾+水冷YZMは負け知らずの3連勝。杉尾はこれで6勝目をマークしタイトルを決定した。



は、バイクに乗る日!



マナーや服装に特に気を使うお父さんと直次郎くん。Sサイズのヘルメット、長袖シャツ、Gパン、スキー用手袋、ブーツはイタリア製の子供用



直次郎くんを中心に、そろってバイクを楽しむTYのよき仲間たち

お父さん公認

8才のトライアラー! 大貫直次郎くん

「お兄いちゃんたちが、ヤマハのTY250に乗って丸太を越えたり、バランスをとったり一生懸命トライアルの練習をしているので、はくも自転車でマネをしていたら、ある日お父さんがバイクを買ってくれた。それがこのTY80です」

★ ★ ★

「別に子供が買ってくれといったわけではありません。でもまわりの大人たちが、バイクに夢中になっているのを見ていれば、やがては自分も乗りたくなるでしょう。それなら小さな頃から馴じませて、バイクの本当の楽しさを正しくおしえたい、そう思ってバイクを買えたわけです。」

まわりの大人たちが熱中しているのはトライアル。だからバイクは自然とトライアル車ということになり、それならTY80以外に考えられない、ということでした。

★ ★ ★

「バイクに乗るようになってからは、学校から帰って勉強を終えたあと自転車でトライアルの練習をしています。まだ小学生なので道路じゃバイクは乗ってはいけないでしょ! そして日曜日はお父さんやお兄いちゃんたちと早戸川に来て一日中乗るの」

★ ★ ★

「きちんとした知識と技術を身につけていればバイクほど楽しく、手がるな乗物はない。若い人たちがあこがれ、興味を持つのは当たり前です。私は少年時代にバイクライフを楽しんだわけではないが、若い人たちのバイクに対するひたむきな気持ちは十分に理解できます。」

乗るのはこの早戸川だけですが、直次郎には、決して無理なこと、危険なことにはしない、大人の人のじゃまをしない、他人に迷惑をかけない、ことをよくいい聞かせて乗せているんです。バイクを通じて子供の教育なんて大げさなことは考えていませんが、親にとっても子供にとっても貴重な経験であるとは思いますがね」

★ ★ ★

競技会やトレーニングなど、休日ともなるとトライアル仲間のにぎわう神奈川県早戸川溪谷で、みんなの人気者となっているTY80のちびつ子トライアラー大貫直次郎くん(8才・小学校3年)と、TY250で愛息の後を追いつつ、その熱心なトライぶりに目を細めるお父さんの清一氏(38才・神奈川県藤沢市葛原)、そしてTY250でともに楽しむお兄いちゃんたち。ファミリーなトライアルのムードにつつまれた早戸川でも、この「TYのよき仲間たち」の姿は、バイクがつくるすばらしい世界をひとときわきわだたせている。まさに「ファインデイズ・オン・ア・バイク」そのものだ。

日曜日



やま 奥は

店頭での一言サービス

* お店とお客さまとのパイプ役 *

細川 和子さん(細川商会・細川清吾氏夫人)



長男の武志ちゃん(4才)にはまだまだ手がかかるが、和子さんはお店の仕事と家事の仕事を立派に両立させています

和子さんがご主人の細川清吾さんと交際をもつようになったのは十年ほど前のこと。函館市内でお米屋さんだった和子さんの実家のすぐそばのオートバイ販売店に勤めていた清吾さんを、和子さんのお父さんが家庭マージャンに誘ってからのことでした。

和子さん自身はパイをとるということはありませんでしたが、お茶を入れたり、うしろから戦況をながめたりしながら、自然と恋こころは芽生えていったというわけです。

「私のほうはどつっことなかったんですが、ごいつ(和子さんのこと)の方がうるさくて」

とは清吾さんの言葉ですが、周囲の人々の声を総合すると、そうでもなかったようです。お二人は結局、相思相愛で一年後に結婚しました。

念願の夢であったお二人のお店を持ったのは4年半ほど前。函館の新興繁華街として大きく発展している五稜郭町に近い中島町にきれいなお店を持ちました。

「いままではあまりお店にはでなかつたのですが、昨年の暮あたりからなるべくお店にできるようにしています。主人はお客さまの顔は覚えていても、名前や電話番号はなかなか覚



えられないようですので、わたしが発見するよう努力しています。これはさ細なことですが、お客さまとのコミュニケーションをスムーズにするためにたいへん役立ちます。また若いお客さまとの会話もできるようにして主人と若いお客さまとのパイプ役をつとめています。とくに、女性客へのセールスは主人よりわたしの仕事だと思い、上手にできるよう、主人のお客さまに対する接し方を手本に



感じのよい店づくりをめざす細川商会さん

勉強しているところです」
細川さんのお店では、安全運転指導を意識しておこなっています。お店でバイクを買ったお客さまたちが事故をおこしていないのも和子さんたちの誇りです。

チャピイは私の生活の足



和田 弥生さん

宮城県仙台市新寺小路8

仙台駅の東側、プロ野球のロッテ・オリオンズのホームグラウンドとして脚光を浴びている仙台市営球場のすぐ近くにヤマハフレンド店「板橋オートショップ」さんがあります。まだ二十代の板橋和男さんが、お父さんのおとを引きついで経営されているお店です。和田弥生さんはこの板橋オートショップさんのお客さま。妹さんと共同でグリーンのチャピイLB50-II・Aを求めたのはちようど一年前のことでした。

やさしくて便利な

オートマチック車

「板橋さんのお店とはうちも近く、和男さんとは小学校も一緒なんです。うちは大徳寺と

「べつにそのために大がかりな催しをしなくても、店頭でひと言アドバイスするだけで、大きな効果があると思います。主人がいうとイヤ味に聞こえる場合もあるようですが、わたしなら、お客さまも素直に受けとめてくれるようです。ですからお客さまには必ず「事故には気をつけてね」と声をかけるようにしています」
和子さんが日頃心がけていることは、主人の清吾さんが、毎日気分よく仕事ができるよう、出来ることは精いっぱいするということだそうですが、小学校3年のお嬢さんと4才の男の子を育てながら、家事とお店の仕事を立派に両立させ、ご主人を引き立てながら陰にまわって尽くす奥さまの働きはまさに内助の功そのもの。ご主人もおおいに感謝していました。

(函館市中島町38-12)

いうお寺で、父は住職をつとめるかたわらルンビー幼稚園の園長も兼ねており、私もこの幼稚園の先生をしています。

和男さんのお父さまには園庭の鉄棒をつくっていただいたこともあり、なんでも相談にのってくれますので、バイクの購入に際してはもちろん板橋さんのお店ときめてました。そして店頭で見たのがこのチャビィで、わた

し一目で気に入ってしまい、すぐ乗り方を教えてもらったんです。

練習場は園児の帰った運動場。和男さんが先生をつとめてくれましたが、二周、三周するうちに、もう自信をもってコントロールすることができました。オートマチックって本当にやさしくて便利ですよね。わたし、生れて初めてバイクに乗ったんですけれど、こん

なに安定よく、やさしく走れるものとは思いませんでした。

お田さんが亡くなられたため、幼稚園の仕事を済ませたあとは、夕食のお買物や台所にもたつ弥生さん。一人二役三役をこなしておボランティア活動など各種サークルに加わっているほか、お華や絵を学んだり、テニスも習うといった忙がしさです。そして、こう



可愛い園児たちにもチャビィは人気もの

した生活の足にはかならぬチャビイが活躍しているというわけです。

メカにもつよくなって バイクをもっと知りたい

「わたし、五年前に普通自動車の免許をとって、買物やお稽古ごと、サークル仲間の集会の足として自動車を使っていたんですが、仙台市内もご多分にもれず駐車難で、いつも駐車には頭をいためていたんです。

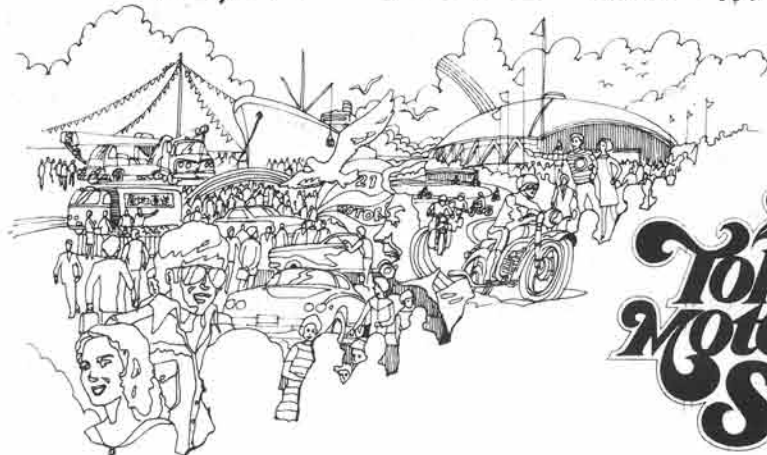
そこで、どこにでも比較的簡単に置くことができ、なおかつ安全で気軽に乗れるバイクが欲しくなりました。50ccバイクなら普通免許で乗れますものね。

お店に注文して、テニスのラケットや大きな買物袋もつめるようフロントバスケットを大きなものにつけ替えてもらい、冬はスノータイヤにしています。とにかく、バイクは便利な乗物ですね。」

一年を経て、いまはすっかりチャビイに乗りなれた弥生さんのこれからの課題はメカニックにつよくなるということです。

「板橋さんが、すべて親切に面倒をみてくれますので、わたしはいつまでも『バイクはガソリンさえ入れておけば走るもの』といった考えで、メカニックについては全然知らずとしないのは、いけないことですね。乗らない時は家の軒下に置いておくのですが、一年目の定期点検のため、この間、トクで汚れたまま板橋さんにもつていったら、『トクは早めに落とさないと、錆の原因になりますよ』と注意されてしまいました。これからは、ただ便利な足として乗り廻すだけでなく、このチャビイをもっとかわいがるようにします。」

充実した内容、盛り上りをみせる今年の・・・ 第21回 東京モーターショー くらしをくるまにのせて 10/31～11/10 東京・晴海



21st Tokyo Motor Show

ヤマハの展示は3号館です。

主催 社団法人自動車工業振興会
後援 通商産業省・運輸省・外務省・建設省・東京都
社団法人東京国際見本市協会

開場時間 10/31、一般公開AM10:00～PM4:30
平日、AM9:30～PM4:30
日、祝日、AM9:00～PM5:30
入場料 一般500円 小中学生250円

※日、祝日は非常に混雑いたしますので、なるべく平日にご来場の上、こゆっくりご覧ください。
※駐車場がありませんので、バス、船などをご利用ください。

出品展示

- 乗用車 1号館/2号館
●日本、アメリカ、ヨーロッパ...世界の車が一堂に揃いました。
- 商業車 1号館/2号館
●社会、産業に貢献する実用車が勢揃い。
- 二輪車館
●国産車に加えて、アメリカ、ヨーロッパ車も参加。
- 部品館
●117社による部品、機械工具、関連商品の展示。カナダ政府も出品。
- 特別展示館
●「くらしをくるまにのせて」をテーマに自動車と生活の密接なかわり合い、役割をわかりやすく展示。
- 特種車の展示
●生活の各分野で活躍している車の実演展示。
- 輸出専用船の公開
●会期中の土曜、日祝日には、自動車専用の輸出船を一般に公開。
- ファミリーバイクランド
●楽しみながら安全に乗るための二輪車教室。
さらに
●産地直送販売(会期中の土曜日)
●自動車ガイドブックの販売
●講演会
●自動車研究所見学会



大統領から大臣から J・セコットとヤマハに祝電

モータースポーツ情報。世界選手権スピードレースのページでお知らせしましたように、ロードレース世界選手権350cc級レースにおいて若冠19才、ベネズエラのJ・セコット選手が第11戦チエコGP終了時点で78ポイントをあげ、GPレース初出場のみことタイトルを手中にしました。

この快挙を喜んでカルロス・アンドレ・ベレス大統領をはじめ衆議院議長、青少年スポーツ大臣、カラカス州知事等ベネズエラ要人達より祝電がJ・セコット選手ならびにヤマハ発動機株式会社に寄せられています。ベネズエラでは、その積極的な国民性から

◎カルロス・アンドレ・ベレス大統領よりセコット選手宛の電報（訳文）



▲カルロス・アンドレ・ベレス大統領（共同提供）

今回、若冠19才の貴殿が、かん難かつ危険をものともせず、世界選手権モーターサイクルレースにおいて世界チャンピオンの座を得たことは、ベネズエラ国家の荣誉であり、貴殿の勝利は目標に貢献すること大である。また、貴殿の非常な態度が成功の基であることを、また、ラの全国民を代表して、ここにベネズエラを代表して、心から祝辞を送り、エラの全青少年が熱狂的に祝福し、ベネズエラを親しくお伝えするものである。

安全とマナーの普及へ

スポーツランド菅生に安全運転指導センター

「スポーツランド菅生」菅生では、二輪車の安全運転の普及を旨とするヤマハ発動機の方針を受けて、スポーツランド菅生安全運転指導センターを設置、二輪車運転者ならびに安全運転の指導者層の教育を積極的に推進していくことになりました。

まず十月十三日から三日間にわたって、山形県下の自動車指定教習所（自動車学校）のメンバーを対象とした指導員講習を行ないます。

これは山形県警の肝入りもあって開催の運びとなったもので、防衛運転や初心者教育を含む安全運転理論、応用実技やトライアル教室、カート教室を含む基礎実技等、充実したカリキュラムに従って行なわれます。

なおスポーツランド菅生の二輪車安全運転講習には、受講者の層に合わせて、指導者講習、特別講習、一般講習の三つのコースがあります。

安全運転日本一が決まる

第8回二輪車安全運転全国大会

〔東京〕安全運転日本一をきめる「第8回二輪車安全運転全国大会」が八月二十四日、東京都世田谷区の警視庁交通安全指導所で開かれ、各地えりすぐりのベストライダー四十四都道府県一六五選手（台風6号の影響などで三重、岐阜、和歌山三県は不参加）が安全運転の技を競い合った結果、昨年にひきついで広島県が団体優勝しました。

また個人部門では一般Aクラスでは宮城県代表の佐々木節さん、同Bクラスでは広島県代表の橋幹治さん、女性クラスは山形県代表の遠藤裕子さん、高校生クラスは広島県代表の上田俊夫さんがそれぞれ優勝の栄冠に輝きました。（セフティメイト20号参照）

なお、競技は学科（筆記テスト）、安全走行、運転技術の三種からなり、このほか今年には希



「トライアルランド鹿児島」のオープンを前にテスト・ランする鹿児島ミカエルRCのトライアル仲間

（ヤマハ南九州）長崎の「トライアルランド琴海」のオープンにつづいて、九州で二番目の「トライアルランド鹿児島」がオープンします。場所は鹿児島市内から国道三号線を上った日置郡山町のブロック工場の跡地にある丘陵地帯で、オープンを前に鹿児島ミカエ

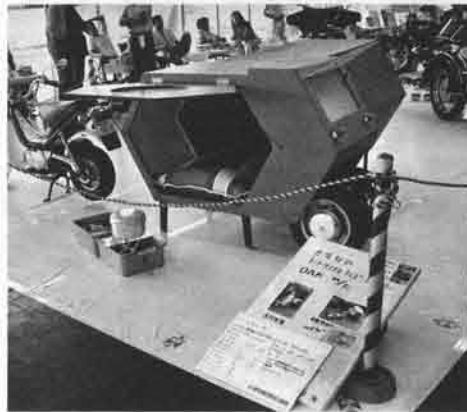
鹿児島にも

トライアルランドが誕生



望者にはトライアル競技もありました。

毎年、秋の東京モーターショーに先立って開かれる「東京モーターサイクルショー」が今年も8月22日から24日まで、東京の晴海で行われました。このショーは、オートバイマニアの集いの場とすると同時に、より多くの人にオートバイを知ってもらおうという主旨のもとに始められたもので、今年で5回目。出品されたオートバイは、マニアにとってはいずれも興味あるものばかりで、クラシックモデルあり、カスタム、チューニングマシンありで、バラエティに富んだ車種が会場を埋めつくしました。出品台数は、国産メーカーのディーラーからの出品も含め150台を数え、ヤマハ車ではベテラン本橋明泰選手出品のロードレーサー、石川洵さん出品のチャビイがけん引する世界初のバイク・キャンピンググレラー（写真）などが注目を集めました。



バイク仲間の人気を集めた 第5回東京モーターサイクルショー

ルRC（中村和夫会長）のSL仲間がさっそく走ってみましたが、セクションの設定もいろいろと変化があつて評判上々。正式のオープン時には「SLトライアル大会」のイベントを組んで、鹿児島、宮崎、熊本地区のトライアル仲間をスターに、トライアル人口を増大していく予定です。（鹿児島）



走りぬいた東京—菅生300km 6日間！

に行われた「みちのくサイクルキャラバン」は、応募4112人の中から選ばれた14才から51才までの48名（男39名、女9名）のみなさんで行われ、東京—菅生間 300kmを予定どおり6日間で走破。8月8日午後3時半全員無事にブジョーリエ8のペダルを踏んで「スポーツランド菅生」にゴールインしました。これは完走を記念してのスナップです。ご苦労さまでした。

スポーツランド菅生主催、スポーツニッポン新聞社後援のもと

ユ一ザ一登場

わが友、プジョー

つもや食堂
鳥居 護さん(35)
岐阜県吉城郡古川町

NS22で出前能率アップ

「お待ちどうさん、つもやです」
飛騨川に沿った国道41号線を高山市よりさらに北へ15km、吉城郡古川町で「つもや食堂」を営む鳥居護さんが、出前用に愛用しているのがプジョーミニ・NS22である。

以前、そば屋さんや食堂の出前といえば、自転車を使用する場合は圧倒的に多かった。その後、出前範囲の拡大にともない機動性に富むバイクが使用されるようになり、現在では自動車が出前するところさえある。

鳥居さんのお店は、国道からややはずれた裏通りにあるが、あたりは商店が軒をつらね行き交う人や自転車、バイク、自動車でたいへん混雑する地域である。こうした条件のところでは、かえって昔ながらの自転車の方が

小まわりがきき、能率的である。まだ新しいNS22を軽妙に乗りこなし、出前にむかう鳥居さんは

「うちでも、最近になって出前の量が多いときは自動車を使うことになりましたが、少ない時は従来の自転車が一番です。子供の頃から自転車が好きで、現在、古川サイクリングクラブ」と、古川体育協会サイクリングクラブに所属し、子供たちの指導にあたる立場にあり、自転車にはちよっとうるさい方です。スタイルがよく、ハンドル巾が広くて乗りやすいプジョーミニは、出前には打ってつけです。今年の5月に購入しましたがもつと前からプジョーにしていれば良かったと悔いて



(都竹自転車店
都竹 淳さんの話)

「鳥居さんは、うちの古くからのお客さんでメイトはもう八台目です。プジョーは今回

じめて使ってもらうようになりましたが、NS22の軽さ、乗りやすさを充分理解していただき、このつぎに買い換える時もプジョーにすると喜んでいただいています。
地域の人に良い自転車に乗っていたことが、プジョーを扱うようになりましたが、PR不足のせいが残念ながらまだプジョーというブランド名も知らない人が多いようです。値段的にも国産と変わりなく、あるいは、国産でもプジョーほどの高品質なものをつくればもつと高くなるかもしれぬプジョーの良さをこれからも機会あることにPRし、古川の町にプジョーを増やしていきたいものです」

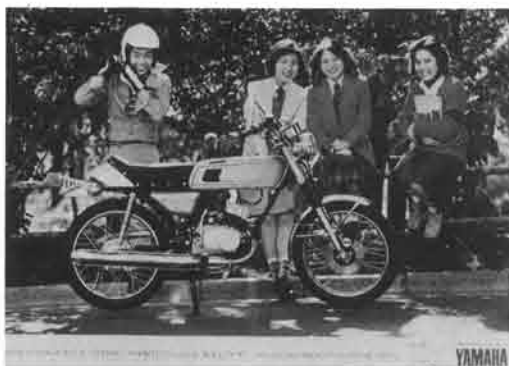
「乗りやすさは抜群です。出前の仕事も楽しくなりました」軽快なペダルさばきで出前に向う鳥居さん



みんな友だち気分だ

ファインデイズ・オン・ヤマハ

◆RD 50 ◆TY 50 ◆MR 50 ◆GT 50、そしてチャピイ50と若者のふれあいをさわやかにスナップしてみたこの一連の広告は、「プレイボーイ」「平凡パンチ」など、若者向けのマス・メディアにのせられた「友だち」シリーズです。バイクのある楽しい世界を飾り気なく表現して、見る人の心をソフトに包むふれあいのある頁として好評を呼んでいます。どうぞこの意図するところをお汲みいただき、お店のご販売にお役立てください。

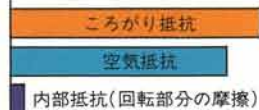


「そんなはずはない。せつかく高いフレームを選んだのに。」そう思われる人もいるでしょう。たしかに軽く走るには、自転車が軽いにこしたことはありません。でも実際には、車体の軽量化が及ぼす影響はごくわずかなのです。では、なぜ——。

「軽い走行」の鍵を握るのは、
タイヤのころがり抵抗。

自転車が一定の速さで走っているとき、進行方向に同じ大きさの2つの力、[推進力(プラス方向)=こぐ力]と[走行抵抗(マイナス方向)=止まろうとする力]が働いています。したがって軽く走るためには、走行抵抗を小さくすればよいわけです。そして、この走行抵抗の中で大きな割合を占めているのが「ころがり抵抗」と「空気抵抗」。

主な走行抵抗(15km/h)



空気抵抗を減らすには、前傾姿勢をとるしか

ありません。となると、残るころがり抵抗をいかに小さくするかが、「軽い走行」を握る鍵になります。それには、車体の軽量化と、もうひとつ、良いタイヤを選ぶ、という2つの方法が考えられます。前者の場合、車体を1kg軽くしても、抵抗値は残念ながら100分の1kg程度しか減少しません。しかし、良いタイヤで走ると抵抗値を大幅に減らすことができるのです(タイヤのころがり抵抗係数を0.001小さくすると100分の5~7kg減少)。

いかがですか。「軽い走行」を生みだすキメ手。それは良いタイヤを選ぶことに他なりません。

ウォルバー、ミシュラン、ユッチンソン。
いずれもグッドタイヤの「世界の代名詞」
です。

プジョーの自転車づくりは、まさに、この良いタイヤ選びからはじまります。では、良いタイヤとは何か。一口にいえば、重量が軽く、ゴム質がしなやかなもの。そして、使用目的にぴったり合ったトレッドのもの。これこそグッドタイヤといえるのです。プジョーが、このタイヤ性能の研究に長い年月をついやし

選びだしたのが、ウォルバー、ミシュラン、ユッチンソンです。そして、これらは今日、「軽い走行」を生みだす最高のタイヤと確信しています。何故なら、数あるタイヤの中で、世界の人々からグッドタイヤの代名詞として、広く愛用されているからです。「軽い走行」を設計の大前提とするプジョーイズム。あなたなら、どのプジョーで「本物の乗り味」をお試しになりますか——。プジョーは、1889年フランスに生まれた自転車。

車種名	タイヤ
UE8 (スポーツ)	ユッチンソン(セミオープンサイド)
J10 (ロードレーサー)	ミシュラン
PA10E (ロードレーサー)	ウォルバー(インターナショナル)
PR10 (ロードレーサー)	ウォルバー(インターナショナル)
PX10E (ロードレーサー)	ウォルバー・クリテリウム
super PX10E (ロードレーサー)	ウォルバー(プジョー・プロフェッショナル)



車体をいくら軽くしても、
軽く走れるとはかぎらない。

●本年度フランス一周4,000km(ツール・ド・フランス)優勝。

